

# 新津観光協会コーナー

新潟市秋葉区新津本町3-1-7 (新津商工会議所内) ☎24-3777  
URL: <http://www.nitsu.or.jp/~n-kankou/>  
E-mail: [n-kankou@fslnet.or.jp](mailto:n-kankou@fslnet.or.jp)

## 6/7日(日)に開催される「第3回「SLばんえつ物語」号フォトコンテスト作品募集!!

### 【募集部門】

- ミニガーデン部門
- 寄せ植え部門

### 【表彰】

- ミニガーデン部門
  - ・最優秀賞 賞金5万円
  - ・優秀賞 賞金1万円
  - ・入選 賞品
- 寄せ植え部門
  - ・最優秀賞 賞金2万円
  - ・優秀賞 賞金5千円
  - ・入選 賞品

※審査は人気投票で行います。

また参加者全員に参加賞のプレゼントがあります。

## 新津商店街(協)連合会では「ミニSL」C21運行事業への協賛金をお願いをしています!

新津商店街(協)連合会では、「鉄道文化」と「街づくり」との関連をベースに捉えて市街地への交流人口を増やし活力を生み出すことを目的として、平成24年「ミニSL・C21」を取得し、秋葉区内のイベントや各祭りなどで運行し子供達に楽しんでもらい大変喜ばれています。



この度、同商店街連合会では現状に満足することなくこのミニSLがもっと脚光を浴びるよう魅力作りを計画。もう一段グレードアップさせるために「円周コース型線路」の導入に向け、企業や市民の皆様にも協賛を呼びかけています。

協賛金は、カラーコーンに協賛者の事業所名や個人名などのシールを貼付するもの(写真イメージ参照)で一枚5,000円からお願ひしております。詳細については、新津商店街(協)連合会(事務局は、(株)三軒 ☎221111)へお問い合わせ下さい。

## 第3回「SLばんえつ物語」号フォトコンテスト作品募集!

### 【撮影テーマ】

JR新潟駅からJR会津若松駅までの「SLばんえつ物語」号運転区間において走行するSLを題材にした写真。

### 【撮影期間】

平成26年4月～平成27年11月末までの運転期間中に撮影されたもの。

### 【応募規定】

- ★平成26年4月～平成27年11月末の運転期間中に撮影された「SLばんえつ物語」号の走行写真を対象とします。
- ★作品のサイズは4ツ切り。(254×305、ワイド4ツ切り可、インクジェットは不可)
- ★ご応募される作品に対して合成・加工は不可です。
- ★他のコンテストに応募していない作品とし、1人3点までです。

### 【応募期間】

平成27年11月1日～平成27年12月31日 (当日消印有効)

### 【応募先】

〒956-0864  
新潟市秋葉区新津本町3-1-7  
新津商工会議所内  
「磐越西線SL定期運行推進協議会」宛

※作品の裏に応募票を貼付して下さい。応募票(住所、氏名、電話番号、作品タイトル、撮影日、撮影場所)にご記入いただいた個人情報にはフォトコンテスト以外の目的に使用致しません。

※詳細は磐越西線SL定期運行推進協議会ホームページ又は☎0250-22-0121へお問い合わせください。



【作品搬入・制作日】  
・6/5(金)・6(土) 9時～17時まで (園内での作品制作も可能)

【作品搬出日】  
・6/11(木)9時～17時まで

【発表】  
6月上旬。入賞者には直接通知する他、新津観光協会HPにて発表予定。

【お問い合わせ・申込先】  
新津観光協会または新潟県立植物園(T E L 0 2 5 0 2 4 6 5、F A X 0 2 5 0 2 4 1 0)

【参加費】  
無料(作品の制作費や搬入、搬出に係るものは参加者の負担となります。)



## 鉄道の世界へ

# 思い出すコンテスト

## 作品紹介

新津商工会議所では新潟市秋葉区が「鉄道の街」であるイメージを広く情報発信させることを目的に、平成25年6月から10月までの期間で「新潟市秋葉区内での鉄道に関係する思い出すの作品コンテスト」を実施しました。この入賞作品を「にいつホットステーション」に連載で掲載いたします。作者の想いを綴った「秋葉区」と「鉄道」の感動作品をぜひ一読下さい。

### 佳作

#### 「駅・未知の世界への扉」

三条市 泉 幸恵 (39歳)

私は生まれながらの三条市民であるが、父は古津の出身である。父の祖父は古津の宮大工の棟梁であった。父の姉達三人は皆、新津で暮らしている。私はその地縁に導かれるように、父の母校である金津中学校に一年間、伯父が勤めた新津の小学校で三年間仕事を待って、その間信越線で通勤した。おば達の暮らす新津の駅は数えきれないほど利用した。また、私は東三条から新津を経由して、新潟駅までの鉄道の旅も大好きなのである。私のお気に入りには、4人がけの席でなく、見渡す限り平野の広がる方を向いて2人がけの席に座り、足を

### 佳作

#### 「新津第一小学校とC57」

新潟市秋葉区 石本 麻奈 (11歳)

わたしのSLの思い出は、毎年新津第一小学校の運動会でC57が通って、汽笛を鳴らしてくれることです。

どうして通るだけではなく、汽笛も鳴らしてくれるのでしょうか。それは、私のお父さんが小学生だった時、引退したC57がかざってあったからです。そして、C57の中で遊べたそうです。とってもうれしかったです。

最近、休み時間にもC57が通ります。黒いけむりをあげてはしつてくると、みんながまどにかけよって、「わあー。SLだー」とさげびます。とっても楽しいです。教室のある下にも、SLの写真などがかざってあります。C57にもどって来てほしいけど、SLが一台もはしらなくなるいやです。

発していた。当時の私には磐越西線の知識は皆無で、よく目にする馬下という地名の読み方も知らなかった。当然、五泉駅まで行くとか、そういう気も利かず、次の新関で急いで降りた私は、一時間ほど田んぼの中で一人だった。このような事でも無ければ、一生この駅に降りる事はなかったらうと思っながら。

人はいつも、目的地への電車に乗る。だが、同じ駅から違う電車に乗れば、自分の知らない土地に行く事ができ、別の風景が広がる。

駅は不思議で可能性に満ちた場所。